

皆様に知ってもらいたい寄附金の使い道

地球が沸騰している？～脱炭素社会に向けて～

近年世界各地で地球温暖化の影響による気候変動問題が取り上げられています。日本においても、2023年の夏は気温が40度を超える地域が複数発生し、旭川市でもこれまでにない暑さを経験しました。

国連のグレース事務総長は会見で「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と述べたことは記憶に新しいかと思います。こうした地球温暖化や気候変動の問題は一人ひとりがその重要性を認識し、行動を変えていく必要があります。

本市では、気候変動問題に対応して「世界の環境に貢献するサステナブルデザイン都市・旭川市」を創造していきます。

野生鳥獣の現状と対策

旭川市においては、特に郊外においてヒグマの出没が続いており、令和4年度は68件、令和5年度は令和6年2月末現在、80件の出没が確認されています。また、市街地に住み着いているカラスも、春から夏にかけて繁殖期を迎えると雛を守るために攻撃的になり、巣の近くで襲われたという通報も毎年100件から200件程度寄せられています。

街の中心部に川が流れる旭川市では、山から河川敷を通して野生生物が市街地に侵入する可能性があります。市街地への侵入に慣れてしまったヒグマは、人の生命を守るために捕獲してしまわなければなりません。そのような状況をできるだけ避け、共生を続けていくためには、ヒグマを呼び寄せるきっかけとなるものを取り除き、侵入対策を講じる必要があることから、旭川市では専門家を講師として招き、野生生物等に関する正しい知識を学ぶセミナーの開催や、センサーカメラ・電気柵を設置し、市民の安全とともに野生生物の生存にも配慮していきます。

寄附金の使い道

皆様からいただいた寄附金は、地球温暖化対策、気候変動問題への対応、ヒグマなどの鳥獣対策に取り組むため、大切に活用させていただきます。

お問合せ先

環境部環境総務課 電話 0166-25-5350